



九段下駅3a出口正面

Chiyoda Implant Center

千代田インプラントセンター

# 「安全で痛くないインプラントとは？」

千代田インプラントセンター 小冊子



## ～前章～ 院長からのあいさつ

こんにちは、院長の田中和之です。

国立長崎大学歯学部卒業後、勤務医を経て九段下の地で開業し早5年になります。

突然ですが、あなたにとって人生の大きな楽しみは何ですか？

家族や友達とのコミュニケーション、旅行、グルメ、スポーツ・・・

いろいろなことが思い浮かんだことでしょう。

何をするにも、健康が大事ですよ。

歯というのは普段つい後回しにされがちなのですが、実は健康にとって非常に重要なものなのです。

若いときは、虫歯が痛い・・・と思うだけですが、年を取ってくるにつれて、

歯のケアをしなかったことにより、歯周病などで歯を失うリスクが高まります。

歯がない動物は野生で生きていけない事、ご存じですか？

きちんと噛めないと、人間もどんどん弱ってしまいます。

また、歯がないと人前で思い切り笑えないですよ。

**健康に楽しく生きていくためにも、歯やお口が健康であることが大切なんです。**

快適に食事が食べられるということは栄養もしっかりとれているということ。

するとQOL(生活の質)も高いものになっていくんですね。

とはいえ、すでに歯を失ってしまっていたり、骨がボロボロになってしまっていたり、そもそもの噛み合わせが悪かったりと、今現在治療を余儀なくされて、お悩みの方も多いことでしょう。

そこで、失った歯を再び取り戻す治療としてインプラントがあります。



ただ、「歯がなくて困っているが、インプラントは怖い」

「色々な医院で話だけは聞いたけれど、どの先生を信頼していいのかわからない」

などの理由でインプラント治療に不安や疑問を持っている人が多いのが現実です。

確かにそうですよね。

インターネットでインプラントを検索するだけでも数え切れないほどの

歯科医院がヒットするうえに、価格もバラバラです。

私が患者様の立場だったら、どこの医院に行ったらよいか迷ってしまうでしょう。

どの歯科医院を選ぶかによって、大きく運命が変わってしまう…といっても

大げさではありません。

当院では、**患者様との信頼関係を大切にしながら治療を進める**ことをモットーにしています。

患者様をいきなりチェアに座らせて口の中をのぞいて

「ここ、虫歯ですね。削って治療しましょう。それからここはインプラントにしましょう」

そんなことを一方的に言われても困ってしまいますよね。

でも、似たような経験をした人、いらっしゃるのではないのでしょうか？

当院では、まずはカウンセリングからスタートします。

そこで患者様のお口の写真などを見ながら一緒に治療方法を選択していきます。

インプラントに関する不安や疑問があったら何でも話してください。

遠慮は無用です。

だって、治療を受けるのは患者様ご自身なのですから！

ちょっと極端なたとえですが、服をオーダーメイドするとします。

“なんだか肩のところがキツイな”“ラインがイマイチ気に入らない”



そう思ったら、修正してください、と言いますよね。

わざわざ高いお金を払って服をつくっても不満や不具合があるものを身に着けてもちっとも嬉しくありません。

着心地だって悪いでしょう。インプラントだって同じです。

しかも**インプラントは外科手術であり、人工の歯を埋め込むわけですから**

**“やっぱりダメだった”では済みません。**

- 医師と患者様とのしっかりとした信頼関係
- インプラント治療はもちろん歯科治療技術全般においての高い技術
- 万全のアフターケア

私はこの3つがあって初めて、インプラント治療が行なえる歯科医院だと思っています。

特に歯科治療技術を全般において高いレベルで習得していることは重要です。

インプラントだけ、審美だけ、矯正だけしかできない医院で治療を受けた場合、片手落ちの治療になってしまうことが往々にしてあるのです。

インプラント治療を行う前に周囲の歯を少しだけ矯正しておいた方が、審美の面で長持ちの面でも非常に効果的なケース、インプラント治療を行う前にきちんと歯周病の治療を行っておくべきケースは少なくありません。

理屈ではそれぞれを別の医院で治療することも可能ではありますが、その場合はそもそも「インプラント治療の審美性を高めるためにまずは隣在歯の処置から開始しましょう」などと提案されずに治療が流れていくでしょう。

やるかどうかは患者さまご自身が決められることですが、重要な情報が提供さえされていないのは



九段下駅3a出口正面

Chiyoda Implant Center

千代田インプラントセンター

問題ですよ？

それに複数の医院にかかる通院も大変ですし、もしトラブルが発生した時に責任をたらい回しにされる可能性もあります。

当医院の場合は口腔内を総合的に経過観察させていただきますので、メンテナンスに通っていただけましたらインプラントだけではなく口腔内全体を健やかに保つことができます。

この小冊子を手にとってくださったあなたが、後悔しない安全で確実なインプラントに出会い、笑顔で治療を終えられることを心から願っております。

そして私をかかりつけ医として末永くお付き合いさせていただければ、この上ない幸せに存じます。院長  
田中 和之



## ～1章～ インプラントを薦める理由

「一生自分の歯で、おいしく食事をしたい」

「笑顔に自信が持てる口元でありたい」

誰もが願うことですが、もし歯を失った場合どうすればいいでしょうか？

治療方法には次の3つがあります。

まず「ブリッジ」と呼ばれるものですが、比較的手軽で噛み心地も良いため昔はよく用いられた方法です。

両隣の歯を小さく削ってブリッジ＝橋を渡すようにして失った歯を補います。

土台となる部分が必要なので**健康な隣在歯を大量に削らなければなりません**。

これって、とても残念なことですよ。

しかも、食事をするとき歯のない部分の咬合圧が隣の歯を揺らすので、

歯が割れたり歯周病が悪化したりして隣在歯に大きなダメージを与えます。

手軽な治療ではあるのですが、将来隣在歯ごとダメになってしまっかなり大がかりな治療が必要になってしまう場合が少なくありません。

次に入れ歯ですが口の中に入れると違和感が大きいですし、

歯ぐきと入れ歯の間に食べかすが詰まるので食事の度に外してうがいをしなければなりません。

人と食事に行ったときなど困ってしまいますよね。

またクラスプと呼ばれるバネを周囲の歯に引っかけて支える仕組みなので、

そのために隣の歯を少し削る必要がありますし、ブリッジと同じく食事の際に噛むたびにバネを引っかけてある歯が揺れてダメージを受けます。

ですからブリッジほどではないにしろ周囲の歯をダメにしていくことには変わりはありません。

通院回数が増えるのも入れ歯の特徴です。



プラスチックと針金で出来ていますので、曲がってしまったり破損してしまうことが多く、その度に通院して修理したり再制作する必要があります。

失われた歯を比較的簡単に補うことができる入れ歯ですが、日常生活ではとても便利、というわけにはいかないようです。

ではインプラントはどうでしょうか。

顎の骨に人工歯根を埋め込んで固定式の歯をつくるインプラントはブリッジや入れ歯に変わる最先端の治療です。

隣の歯を削ることをも、歯のない部分の咬合圧が隣の歯にダメージを与えることもありません。噛み心地も見た目も、天然の歯と同じです。

入れ歯と違って**確実な固定ができ、天然歯と変わらない外観と噛む力が得られ、**

**第2の自分の歯としてよみがえります。**

当院では安全、安心の無痛インプラント治療を行なっています。

「歯がないから、もうおいしいものが食べられない」

「もう何年も大きく口を開けて笑っていない」

「うまく噛めなくなってから体調がすぐれない」

そんな皆様に喜びと快適な生活をもたらすもの、それがインプラント治療なのです。



## ※インプラント治療はホントに高いの？

### ～ 一生涯のコスト、医療費控除額まで考えたホントの話～

「インプラント治療は保険が効かないので費用がかかる」

と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

しかしそれは違います。

確かにブリッジや入れ歯を選択すると目先の出費は減ります。

でもそれはあくまでも目先の出費が減るだけで、

一生涯での費用で考えると逆に増えるのです。

どういふことかと言いますと、ブリッジや入れ歯を選択された場合

長持ちせずに周囲の歯ごとまとめて失ってしまうことが少なくありません。

そうなった場合、次もブリッジ治療が選択可能な場合はあまりありません。

歯を失った本数が増えるとブリッジ治療は強度的に不可能になることが多いのです。

ですから次は選択肢としては入れ歯治療かインプラント治療しかなくなってしまいます。

しかしここまで来てしまうと入れ歯治療は辛くなってしまいます。

入れ歯のサイズが大きくなってしまふので老けこんだ気分になってしまいますし、

入れ歯はサイズの大きさに比例して非常に食事しにくくなっていきます。

大きなサイズの入れ歯になってしまうともはや食事を楽しむことは難しいとまで言えるでしょう。

ここで奮発してインプラント治療に切り替える患者さんも多いのですが、

正直申しまして一生涯のコストから考えると損をしています。

ここまで来てしまうとインプラント治療を行うにしても複数本行う訳ですから、

費用も数倍に跳ね上がってしまっているのです。

例えば最初にインプラント治療を選択しておけば1本39万円で済んだのに、

そこでブリッジ治療を選択したために、将来3本117万円の費用が必要になってしまうことは





少なくありません。

(ここで述べさせていただいたのはあくまでも一例として、もちろんブリッジやインプラントが長持ちして問題なく機能していくことも珍しくありません。しかし歯科医師としては日常よく目の当たりにする非常に典型的な一例であることは付け加えさせていただきます。)

医療費控除のことも考えておかなければなりません。

詳しくは「医療費控除について」のページで説明してありますが、

医療費控除される金額は想像以上に大きいのです。

医療費と所得に応じて変化するのですが最大で 50%近くも還付されることもあるのです。

50%と言えば半額ですよ！？

まだ現役で働いてらっしゃる間にインプラント治療を受けておかないと、リタイアされてからではこのメリットを使うことはできなくなってしまいます。

そもそも税制は変化が激しいですので、

私には医療費控除のシステムがいつまでもあるとは思えないのです。

この将来の再治療にかかるコストと医療費控除の2点から考えまして、まだ失った歯が少なく現役で働いてらっしゃるうちにインプラント治療を選択し、その後は当医院に於いて定期的にメンテナンスを受けていただいて今ある歯を一生守って行くことが一番の節約であると言えるのです。



## ～2章～ インプラントについて

では、インプラントについてお話ししましょう。

インプラントとは、歯の失われてしまった部分の顎の骨に外科手術で人工歯根を埋め込み、それを土台として上に人工の歯をかぶせる治療法です。

当院では**世界最高の信頼性を誇るスイスのストローマン (Straumann)** インプラントを使用し、1回法で手術を行います。(骨造成を行う場合は2回法になることもあります)

無痛治療のインストラクターである私が手術を行いますので、痛みはほとんどありません。  
(「いつ麻酔したの?」と聞かれることもしばしばです…)

ストローマンインプラントシステムの取り扱いは、  
**専門のトレーニングを受けた歯科医師のみ**行うことができます。

通院回数は最低で「埋入手術」「抜糸」「印象採得」「人工歯装着」の5回です。

思ったより簡単なので驚かれた方もいらっしゃるでしょう。

手術後、インプラントと骨と結合するまで上顎の場合は3ヶ月、下顎の場合で約2～3ヶ月ほどかかります。

本数やお口の状態によりますが、治療期間の平均は2～6ヶ月です。



## ～3章～ インプラントをする上で大切にしていること

患者様の安全を考えた治療を行い続け、当院のインプラント治療成功率は99%以上。  
これまで1000本以上の治療を行ってきました。

**『安全で確実な治療を、スピーディに』** 医師として当たり前です。

手術が長引いたり、噛めるようになるまでに時間がかかったり、痛い思いをしたり……。  
せっかくインプラントを入れても、手術やアフターケアが思わぬストレスに  
なってしまっただけでは治療の意味がありません。

当院では、手術の時間や噛めるまでの時間をできるだけ減らしたいと考えています。

私たちが減らしたい負担は、大きく分けて二つあります。

一つ目は、時間的な負担です。

**できる限り噛めるまでの期間を短くして、治療中の不自由を減らします。**

そして、二つ目は肉体的な負担です。

できるだけ切開する部分を小さくしたり、あごの骨が足りない場合でも、  
無理のない治療法を選んだり。

**ありとあらゆる方向からベストな方法を見出し、早く安全で痛みの少ない治療を行ないます。**

もちろん、早く安全、痛くない治療は高い技術力があってこそ。

また、インプラント治療で最も大切なのはアフターケアです。

期間はお口の中の状態によって異なりますが、4ヶ月に一度メンテナンスを行い、

長く快適に使用できるよう万全のケアを行ないます。

ここで“ええっ、インプラントって面倒くさい”と思われた人は要注意！

歯周病や虫歯になっていないか**定期的に歯科医院に通っている人なら**

**面倒くさいことではないはず**です。



## インプラント治療をきっかけに定期健診に通うようになって

お口の状態が見違えるようになった、という患者様もいらっしゃいます。

ところで、あなたは“インプラント1本10万円ポッキリ”

なんていう謳い文句を見たことはありませんか？

最近、不況の影響なのか安さだけを謳っている歯科医院を目にします。

ここで、あなたに知っておいて欲しいことがひとつだけあるとしたら。

それは**インプラントの価格破壊**です。

通常の生活に置き換えてみるとわかりやすいかと思いますが、価格を下げるということは、

何かを省いてしまうということです。

それは、人件費であったり、物流コストであったり、品質だったり……。

インプラントだって言わずもがな。

品質も内容も変えず、10万円で最高の治療を患者様に提供できるのであれば、

それほど素晴らしいことはありません。

しかし実際には、使用する材料も最高級というわけにはいかないでしょうし、

骨量が足りないなど特殊な症例の手術は難しいでしょう。

次から次に数をこなしている状態で、

患者様おひとりおひとりに十分なアフターケアはできているでしょうか？

“安かろう悪かろう”ではせっかくの時間とお金をムダにしまいます。

また、いくらインプラントが一般化し、安全性が証明されているとはいえ、



九段下駅3a出口正面

Chiyoda Implant Center

千代田インプラントセンター

最初にお話したようにインプラントは外科手術であり、人工の歯を埋め込む治療です。

“やっぱりダメだった”では済まないのです。

当院では“うちでインプラントを入れた患者様は一生面倒をみる”という気持ちで治療を行なっています。

99%の成功率プラス 100%のアフターケア、これがインプラント治療のあるべき姿ではないでしょうか。



## ～4章～ エピソード

実際の患者様の治療例をあげてインプラント治療について  
奥歯の欠損で来院されたA様(38才・女性)の例を基にお話します。

### 【初診・カウンセリング】

インプラント治療で**最も大事な**のは、**医師を含めたスタッフと患者様との信頼関係**です。

初めてインプラント治療を受ける患者さまが不安なのは当たり前。

A様はブリッジとインプラントをまだ迷われていました。

やはり外科手術ということで、インプラントに対しては不安が大きかったようです。

このような不安を取り除くためにも丁寧な説明＝カウンセリングが重要になってきます。

専用のカウンセリングルームでお口の中の写真とレントゲン画像を見ながら、

**1本1本すべての歯について説明**します。

検査や診断結果、症状をもとにインプラント治療(治療方法・治療期間・費用)  
についてご説明します。

いくら優れた治療内容でも、押し売りでは何ものなりません。

患者さまに十分ご理解と納得して戴いてからインプラント治療を進めていきます。

なかには「こんなことを聞いていいのだろうか?」「もう少し(治療をするか)考えたい」という方もいらっしゃるでしょう。

**疑問や不安があれば、どんなことでもご相談**ください。そのためのカウンセリングなのですから。



### 【口腔内の診査】

インプラント診断に必要な検査を行います。

お口の中の状態を詳しく調べるために、口腔内診査、歯肉の検査、レントゲン写真撮影、口腔内写真撮



影、歯型取り(歯列模型作製)などを行います。

骨の状態が悪い場合や、幅、高さが非常に不足している場合には、CT スキャンの撮影を依頼します。これらの検査結果をもとに、より詳しい治療計画を立てて、ご説明します。

※A 様の場合は骨の厚みや高さには問題がなく、すぐに治療に入れる状態でしたがここですぐにインプラントを入れる、ということは当院では行いません。



### 【歯周病治療・歯のクリーニング】

歯周病治療・歯のクリーニング必要と判断した場合は、インプラント埋入前にクリーニングや歯周病治療を行います。

**口腔内の衛生状態が不良のままインプラントを埋入しても、簡単に脱落してしまうからです。**

※A 様の場合は軽度の歯周病が見受けられましたので、1 ヶ月の通院で歯周病治療を行い口腔内を健康な状態に戻してから治療となりました。



### 【インプラント埋入手術】

1 次手術(インプラント埋入手術 )

- (1)奥歯が 1 本欠損した状態です。
- (2)インプラントを埋め込むためのホールをあごの骨に形成します。
- (3)インプラントを埋め込みます。
- (4)インプラント上部にキャップを取り付けます。

一次手術後、インプラントと骨と結合するまで上あごの場合 3 ヶ月、下あごの場合は約 2~3 ヶ月ほどかかります。

★A 様は通常の虫歯治療も苦手・・・というほど、歯科治療に不安をお持ちでしたが、



カウンセリングから歯周病治療と当院に通院されたことで、スタッフとの信頼関係もできて、だいぶ不安が払拭されたようでした。

当初怖がっていた麻酔も、「いつの間に麻酔したんですか??」と聞かれるくらい痛くなく、それでより安心して手術に臨めたようです。



### 【支台装置(アバットメント)装着】

インプラントが骨に定着したらキャップをとりはずし、アバットメントと呼ばれる支台装置を取り付けます。骨量が足りてる場合の定着期間の平均は2~3ヶ月、骨量が足りない場合の定着期間の平均は6ヶ月です。

この時点でインプラントにサポートされた仮歯が入ります。



### 【印象採得(型どり)】

上部構造(人工歯・クラウン)の型をとります。



### 【上部構造(歯にあたる部分)の作製・装着】

上部構造の作製・装着上部構造(人工歯・クラウン)を装着した状態です。

見た目は天然歯とほとんど同じです。

※A様は見た目も噛み心地も違和感無い！と大変喜んでいらっしゃいました。



### 【メンテナンス】

期間はお口の中の状態によって異なりますが、4ヶ月に一度メンテナンスが必要です。

**インプラントの状態をしっかりとチェックして徹底的にクリーニング**を行います。

歯周病になっていないか、きちんとブラッシングが行われているかどうかもチェックします。





他にも、噛み合わせの状態や歯ぎしりしたときなど強く当たりすぎていないかなど、  
**インプラントを長持ちさせるために必要なことはすべて**行います。

**しかしインプラントを長持ちさせるか否かは、**  
**他の歯と同じく患者様ご自身の毎日のブラッシング**に尽きます。

～患者様の言葉(A様・女性)～

歯が抜けたことで、これまで喋ったり笑ったりするとき、とても気になっていました。  
最初はブリッジを考えていたのですが健康な歯を削るのには抵抗があり、まして部分入れ歯なんて・・・と抵抗がありました。

インプラントなら健康な歯を削ることも、目立つバネをかけることもなく  
自分の歯のように噛めて見た目も自然だという話を聞いたことはありましたが  
手術は怖い、というイメージがありなかなか決断できませんでした。

でも、このままにしてはおけないので九段下スター歯科医院へ行くことにしました。  
すぐに治療するイスに座られるのではなく、時間をかけてカウンセリングをして  
頂けたので安心しました。

インプラントの説明以外にも私の歯の状態について教えてもらったので  
歯の健康について、とても興味を持つことができました。

インプラント治療は麻酔がきいていたので全く痛みがありませんでした。  
麻酔はいつ打ったのか気がつかず、何で痺れているんだろう、という感じで・・。  
そのおかげでずいぶんリラックスできたのか手術中は  
いつもの歯の治療と同じようにただ口を開けているという感じでした。



麻酔が切れると少し痛みましたが、痛み止めを飲めば済む程度でした。

あとはアバットメントを装着して型とりをして。

歯が入ったのは2ヵ月後、想像以上に早く終わって驚きました。

今では自分の歯のように噛めるし、見た目も自然なので口元を隠さず

笑うことができるようになりました。

あとはしっかり歯の健康診断をかねてメンテナンスに通って

いつまでも大切に使いたいと思っています。



九段下駅3a出口正面

Chiyoda Implant Center

千代田インプラントセンター

## ～プロローグ～ 終わりに

最後までお読みくださりありがとうございました。

これまでにインプラントに抱いていたイメージがずいぶん変わったのではないのでしょうか？

毎日のように治療をしているとインプラントの素晴らしさを再確認することがあります。

メンテナンスに訪れた方の「おいしく食べられる」「笑顔に自信が持てるようになった」

という言葉は何より嬉しいものです。

すべてのインプラント患者様に対して私が治療を行なっています。

どんなに忙しくても患者様一人ひとりの歯に責任を持つ、

それが私のポリシーです。

「インプラントを入れたいけど、ちょっぴり不安」

「他院でインプラントを断られてしまった」という方。

ぜひ一度、当院までご相談ください。

千代田インプラントセンター 院長 田中和之



院長 田中和之

## 千代田インプラントセンター

【住所】 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-3 九段下東急真サクラビル2F

【電話番号】 03-5211-5880

【診療時間】 月～土 11:00～20:00

【URL】 <http://www.chiyoda-implant.com/>

Copyright(C) 2010 千代田インプラントセンター.All Right Reserved.